



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日 東

上場会社名 川崎化成工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 4117 URL <http://www.kk-chem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 池田 滋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部門長 (氏名) 大坪 孝幸 (TEL) 044-540-0110  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,532	△1.8	3	—	26	303.2	22	238.0
26年3月期第1四半期	4,616	5.9	△25	—	6	—	6	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 66百万円( 59.3%) 26年3月期第1四半期 41百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.58	—
26年3月期第1四半期	0.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	20,524	13,279	64.7
26年3月期	20,664	12,897	62.4

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 13,279百万円 26年3月期 12,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,600	8.5	100	311.0	130	103.5	110	198.2	2.84
通期	21,000	8.5	150	—	220	—	190	—	4.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	41,207,730株	26年3月期	41,207,730株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,496,823株	26年3月期	2,497,410株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	38,710,467株	26年3月期1Q	38,718,217株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、政府による金融政策や財政政策により景気は緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税の影響により個人消費の落ち込みが見られる等、先行きの不透明感が払拭されないまま推移しました。

このような状況下、当社グループは既存製品の拡販と安全・安定操業に注力することで設備稼働率の維持・向上に努めると共に自らの努力で実現できるロス・ムダの削減、業務改善、固定費削減等の積み重ねによる体質強化に注力してまいりました。加えて、中期経営計画のコンセプトである「機能化学品の川崎化成への進化」に向け、既存の機能化学品の拡販や新規用途分野への展開、新規機能化学品の本格展開等に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は前年同期並の4,532百万円（前年同期比84百万円減収1.8%減）となりました。

損益は、主に既存の機能化学品の増販及び固定費削減効果により前年同期に比べ改善し、営業利益は3百万円（前年同期は25百万円の営業損失）、経常利益は26百万円（前年同期比20百万円増益・303.2%増）、四半期純利益は22百万円（前年同期比15百万円増益・238.0%増）となりました。

これを事業別に見ますと次のとおりであります。

## ① 化学品事業

## ・有機酸製品

無水フタル酸は、在庫水準を勘案し輸出を抑制したため減収となりました。

その他の有機酸につきましては、コハク酸は販売数量の減少により大幅な減収、フマル酸は販売数量の増加により大幅な増収となりました。

## ・有機酸系誘導品

可塑剤及びマキシモール®は販売数量の増加により増収となりました。

## ・キノン系製品

パルプ蒸解助剤SAQ®は販売数量の減少により大幅な減収、アントラキノン、ナフトキノン及び農薬原体アセキノシルは販売数量の増加により大幅な増収となりました。脱硫触媒NQ S®は前年同期並の売上となりました。

以上の結果、化学品事業全体としての売上高は4,514百万円（前年同期比92百万円減収・2.0%減）、営業利益は0百万円（前年同期は23百万円の営業損失）となりました。

## ② その他の事業

その他の事業につきましては、売上高は17百万円（前年同期比8百万円増収・89.2%増）、営業利益は2百万円（前年同期は3百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は20,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円減少いたしました。

流動資産は、主にたな卸資産は増加しましたが、受取手形及び売掛金並びに短期貸付金の減少により、前連結会計年度末に比べ126百万円減少し、10,307百万円となりました。

固定資産は、主に減価償却による有形固定資産の減少により、前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、10,216百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は7,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ522百万円減少いたしました。

流動負債は、主に賞与引当金の減少により、前連結会計年度末に比べ148百万円減少し、4,113百万円となりました。

固定負債は、主に退職給付会計基準等の改正に伴う退職給付に係る負債の減少により、前連結会計年度末に比べ373百万円減少し、3,131百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ382百万円増加いたしました。

株主資本は、主に退職給付会計基準等の改正に伴う期首利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ337百万円増加し、10,040百万円となりました。

その他の包括利益累計額は、主に保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ44百万円増加し、3,239百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本年5月9日に発表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が392百万円減少し、利益剰余金が392百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	242	172
受取手形及び売掛金	5,006	4,895
商品及び製品	1,552	2,265
仕掛品	286	186
原材料及び貯蔵品	509	610
短期貸付金	2,749	2,038
その他	87	138
流動資産合計	10,434	10,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,757	1,728
機械装置及び運搬具(純額)	1,658	1,574
土地	5,862	5,862
その他(純額)	121	175
有形固定資産合計	9,398	9,341
無形固定資産	147	137
投資その他の資産	683	738
固定資産合計	10,230	10,216
資産合計	20,664	20,524
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,862	2,779
短期借入金	100	100
未払法人税等	0	0
賞与引当金	188	76
修繕引当金	65	100
その他	1,045	1,055
流動負債合計	4,261	4,113
固定負債		
リース債務	81	71
再評価に係る繰延税金負債	1,704	1,704
繰延税金負債	153	172
役員退職慰労引当金	58	63
退職給付に係る負債	1,277	889
資産除去債務	229	230
固定負債合計	3,505	3,131
負債合計	7,767	7,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,282	6,282
資本剰余金	2,549	2,549
利益剰余金	1,272	1,610
自己株式	△401	△401
株主資本合計	9,702	10,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	259
土地再評価差額金	3,082	3,082
退職給付に係る調整累計額	△112	△103
その他の包括利益累計額合計	3,194	3,239
純資産合計	12,897	13,279
負債純資産合計	20,664	20,524



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,616	4,532
売上原価	4,100	4,033
売上総利益	515	498
販売費及び一般管理費	540	494
営業利益又は営業損失(△)	△25	3
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	11
固定資産賃貸料	13	13
その他	2	3
営業外収益合計	32	28
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産処分損	0	3
固定資産除却損	0	2
その他	0	0
営業外費用合計	1	5
経常利益	6	26
税金等調整前四半期純利益	6	26
法人税、住民税及び事業税	0	4
法人税等調整額	△0	0
法人税等合計	0	4
少数株主損益調整前四半期純利益	6	22
四半期純利益	6	22

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6	22
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	35
退職給付に係る調整額	-	8
その他の包括利益合計	35	44
四半期包括利益	41	66
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41	66
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,606	9	4,616	—	4,616
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	29	29	△29	—
計	4,606	39	4,646	△29	4,616
セグメント損失(△)	△23	△3	△26	1	△25

(注) 1. セグメント損失の調整額1百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。  
2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,514	17	4,532	—	4,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28	28	△28	—
計	4,514	45	4,560	△28	4,532
セグメント利益	0	2	2	1	3

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「化学品事業」のセグメント利益が1百万円減少しております。